

昭9
A
1399

昭和9年4月6日

本誌發行所
展寄贈

昭和九年二月

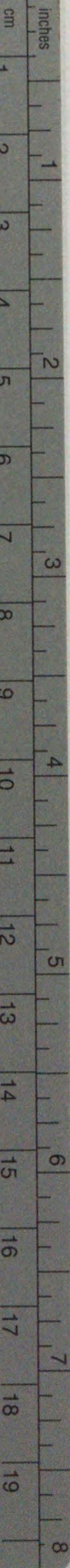
外國に於ける
觀光宣傳印刷物

國際觀光局

立憲
政務調查館
圖書之印

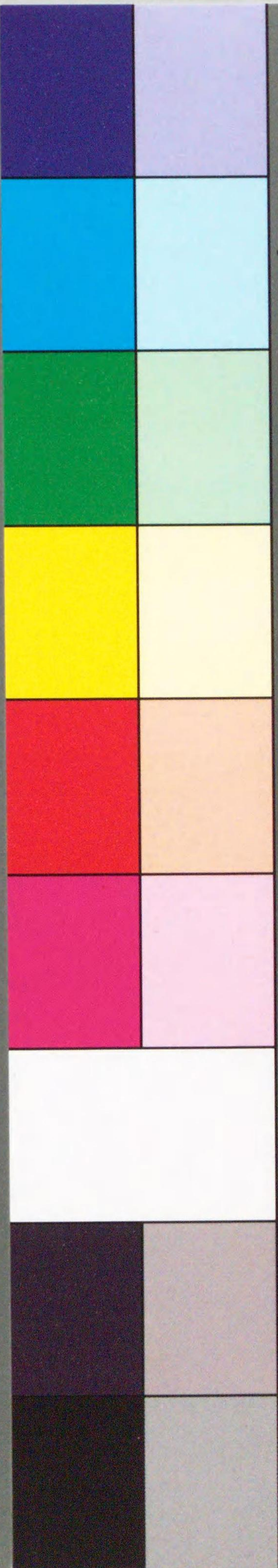
昭9
A
1399

(以印刷代)



Kodak Color Control Patches

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black



Kodak Gray Scale

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



© Kodak, 2007 TM: Kodak

外國に於ける觀光宣傳印刷物

目次

一、ド	イ	ツ	一頁
二、アルゼンチン			二
三、オースタリ			三
四、ベルギー			三
五、ブラジル			四
六、ブルガリア			四
七、デンマーク			五
八、アメリカ合衆國			六
九、フィランド			七
一〇、フランス			七
一一、アルジェリア			一〇
一二、イギリス			一〇

一三、カ	ナ	ダ	二
一四、イ	ン	ド	三
一五、蘭領	イ	ン	三
一六、イ	ラ	ク	三
一七、ギ	リ	シ	四
一八、ハン	ガ	リ	四
一九、イ	タ	リ	五
二〇、アイルランド	自由國		九
二一、ルク	セン	ブル	九
二二、ノ	ール	エ	七
二三、オ	ラ	ン	〇
二四、ペ	ル	ー	二
二五、ポ	ー	ラ	三
二六、ポ	ルト	ガ	五
二七、ル	ー	マ	七
二八、ス	ペ	イ	七
二九、ス	エ	ー	八
三〇、ス	イ	ス	八
三一、チエ	コス	ロ	〇
三二、ト	ル	コ	一
三三、ユー	ゴ	ス	三
三四、ソ	ヴ	イ	三

外國に於ける觀光宣傳印刷物

一、ドイツ

全ドイツ自動車クラブ

(Allgemeiner Deutscher Automobil Club E.V.; Königsstrasse, 11a München)

「ADAC自動車界」(Adac-Motorwelt)——本誌は寫真入の週刊雜誌で諸官廳の公示事項を始め運動、觀光、技術、文學に關する記事や旅行記などを掲載す。また自動車、自動自轉車、飛行機及びモーターボートの知識普及に努む。

「全國交通案内書」(Reichsverkehrsführer)——七三五頁を有する年鑑である。全國の優良ホテル、ガラージ、自動車修繕工場を指示し、主なる名所、舊蹟を紹介し、主要都市の地圖を挿入す。

「外國旅行案内」(Auslandstournehbuch)——これはヨーロッパ諸國を旅行するツーリストの便を圖り、各國の通關手續を詳細に記述したもので、ホテルや自動車修繕工場まで併せて掲載してゐる。

ドイツ・ツーリング・クラブ

(Deutscher Touring Club; Prannestrassc, 24, München)

「Der Motor-Tourist」——寫真入月刊誌

「クラブ會報」(Bulletin Officiel du D.T.C.)——二週間毎に發行す

「クラブ年鑑」(Annuaire du D.T.C.)——毎年発行し、ホテル、レストラン、自動車修繕工場等の名を掲ぐ。

ドイツ國鐵道旅客誘致中央局 (R.D.V.)

(Reichsbahnzentrale für den Deutschen Reiseverkehr; Potsdamer
Privatstrasse, 121b, Berlin W. 35)

「ドイツ全國交通案内書」——英、佛、獨の三ヶ國語で發行され五〇頁位の小冊子であるが、ドイツの觀光施設全般に亘つて説明し、よく纏つたものである。

「地方別交通案内書」——これも前者と同一形式のものであるが、ベルリン、ミュンヘン等各主要觀光都市別に作られてゐる。

本中央局はその他、美術、音樂、スポーツ、大學及専門學校、建築、衣服、技術及工業、特殊催物(オーベルア
ンメルガウのキリスト受難劇、ゲーテ祭、ワグナー祭等)の各項目に分けてそれ／＼趣向を凝らしたパンフレツ
トやリーフレツトを發行し、外人客に對してドイツのあらゆる方面の概念を與へ宣傳に努めてゐる。尙、本中央
局の宣傳物で注目すべきものは「風光宣傳カレンダー」である。これは一日一景宛でドイツ各地の風光寫眞を挿
入してゐるもので、寫眞帖として見ても興味あるものである。

二、アルゼンチン

アルゼンチン・ツーリング・クラブ (Touring Club Argentino; Buenos-Aires, Tacuari, 16)
は毎月「アルゼンチン・ツーリング・クラブ月刊誌」(Revista Mensual Touring Club Argentino)を發行して
ゐる。

三、オースタリー

オースタリー・ツーリング・クラブ

(Oesterreicher Touring Club; Wien, IX, Peregringasse, 2)

「クラブ會報」(Bulletin du Touring Club d'Autriche)——月刊

「クラブ年鑑」——年一回發行、會員の特典を掲載す

「料程表」——最良の觀光コースとその料程を示す。

その他數種の地圖を發行す。

四、ベルギー

ベルギー・ツーリング・クラブ

(Touring Club de Belgique; Rue de la Loi, 44, Bruxelles)

「クラブ會報」(Revue et Bulletin Officiel du T.C.B.)——月二回發行、フランス語版とフラマン語版との二種あり、また普及版の他に装禎の美を極めたる豪華版が發行されてゐる。
本クラブはこの他、各地の遊覧案内を出版し、また補助金を與へて發行させてゐる旅行に關する著作物も少なくない。

五、ブラジル

ブラジル・ツーリング・クラブ

(Touring Club do Brasil: Rio de Janeiro, 137, Avenue Rio Branco)

「Rio de Janeiro」——同クラブが目下完成を急ぎつつある「ブラジル觀光叢書」の第一巻ともいふべきもので、葡、佛、英、西、エスの五ヶ國語で發行される筈。

六、ブルガリア

ブルガリア自動車及旅行クラブ

(Automobile et Touring Club de Bulgarie: 122, rue Rakousky, Sofia)

「自動車旅行とツーリズム」(Automobilisme et Tourisme)——月刊

「La Bulgarie」——佛獨兩語版あり、ブルガリアの名所舊蹟、療養地、温泉地を紹介し、旅行に關する須知事項を記載す。

「ソフィヤ及び其近郊」(Sofia et ses environs)「ラ・ブルガリ」と共に前記クラブに於て取次。

七、デンマーク

デンマーク自動車クラブ

(Forenede Danske Motorfore; Copenhagen, Vestre Boulevard, 4)

「Motor」——週刊

「Monthly Review of Motor Touring, Denmark」——三ヶ月毎に發行し、佛、英、獨語版あり、尙本クラブは三年隔に旅行案内書發行。

デンマーク旅行協會

(Turistforeningen For Danmark; Vestre Boulevard 18, Copenhagen)

一九三二——三二年中に於て發行したる觀光宣傳冊子次の如し

「デンマーク・ホテル一覽表」(Liste des hôtels du Pays)——一ヶ年の發行部數二〇、〇〇〇

「コペンハーゲンに來れ」(Besuchen Sie Kopenhagen)——一五、〇〇〇部、獨語

「See Denmark」——一五、〇〇〇部、對米宣傳用

- 「Denmark-The Ideal Holiday Land」——10、000部、對英宣傳用
 - 「北方の樂園デンマーク」(Danemark-Paradis du Nord)——5、000部、對佛宣傳用
 - 「コペンハーゲン案内記」——15、000部、丁、英、獨語
 - 「コペンハーゲン遊覧案内」——英語(15、000部)、佛語(5、000部)、獨語(10、000部)
 - 「ツーリスト」(Turisten)——月刊誌
- 以上の他遊覽地圖等數種有り。

八、アメリカ合衆國

アメリカ自動車協會

(American Automobile Association; Washington, D.C.; Pennsylvania Avenue & 17th Street)

「A.A.A. Travel」——月刊誌、毎月一日發行

本協會はアメリカ合衆國を北東部、南東部、北部、南部、西部の五地方に分ち夫々案内記を發行す。

本協會に加盟し居るホテル及ガラージの名前を列記し、併せてキャンプ好適地を紹介したる案内書は毎年發行。

本協會員以外の自動車クラブも各種旅程案内を供給す

九、フィンランド

フィンランド・ツーリング・クラブ (Suomi Touring Club; Helsinki, Mikonkatu, 3) は月刊誌「Auto」を

發行。この他フィンランドに關する旅行文獻次の如し

- 「フィンランド旅行案内」(Finland, Reisehandbuch)——一九二八年、フィンランド觀光協會(Suomen Matkailijyhdistys)出版
- 「スウェーデンとフィンランド及デンマーク主要旅行経路」(Schweden, Finland und die Hauptreisewege durch Dänemark)——一九二九年、ライプチヒにて發行。
- 「フィンランド」(Finland, A practical Guide-Book)——一九三二年、フィンランド觀光協會出版、其他。
- 尙、フィンランド・ツーリング・クラブで無料頒布してゐるものに次の如き冊子がある。
- 「四万の湖を有する國——フィンランド」(Finland, Le pays des 40,000 lacs)——佛、英、獨語各版
- 「フィンランドの旅行経路」(Travel Routes in Finland)——英、佛、獨語各版
- 「ホテルとレストラン」(Hotels et Restaurants)——佛語
- 「北方の白妙の都——ヘルシンゲフォルス」(Helsingfors, Die Weisse Stadt im Norden)——獨、英語各版

一〇、フランススノーミング・クラブ

フランス・ツーリング・クラブ

(Touring Club de France; Avenue de la Grande-Armée, 65, Paris)

「クラブ雑誌」(La Revue du Touring Club de France)——月刊の機關誌で會員には無料頒布。主に自動車旅行、自轉車旅行を奨励するかたはら、未知の景勝地を紹介し、風景愛護に努む

「觀光道路案内」(Guide de Route)——フランス國內に於ける觀光道路を紹介し、併せて自動車の修繕所、ガラージ及びホテルを掲載してゐる。

「觀光行程案内」(Itinéraires)——本クラブの經營に係る「觀光行程案内所」で發行し、觀光的に觀て最も興味ある數多のコースを紹介してあるもので、そのコースの數は約千二百に及んでゐる。

フランス・ツーリング・クラブはこの他、非常に多くの觀光地圖や各地の案内記を出してゐるが、國內に流るゝ大小の河川を利用して旅行する者のために、三十九種にも上る「河川旅行パンフレット」を發行してゐるのは興味あることで、また毎年初頭に出版する「旅行備忘日記」(Agenda-Almanach)には各地の名所、遊覽地やホテル、レストランを紹介してゐるのは勿論、フランスの美術、建築等をも概説し、その傍ら日誌を認め得るやうに出來てゐるから、フランスを旅行する者にとつては頗る便利である。

旅行シンチケート聯盟協會 (エツシイ)

(Union des Fédérations des Syndicats d'Initiative "Essi";
101, avenue des Champs-Élysées, Paris)

「會報」(Bulletin Officiel)——月刊で各地方に於ける旅行組合やその聯盟の動勢を報告してゐる。

「エツシイ年鑑」(Annuaire Officiel)——興味ある觀光地三、〇〇〇に就いて記述し、フランス本國の他、アルジェリヤ、モロッコ、チュニス、印度支那等の植民地まで包含し全部で二十二卷に上る浩翰なものである。各冊分割して頒布する。

「フランスに於ける狩獵」(La Chasse en France)——全頁三〇〇、國內六百を算する狩獵地の交通機關や滞在費用等について説明してゐる。

「フランスに於ける魚釣」(La Pêche en France)——約千八百に上る魚釣場所に關する一切の説明をなす。全頁五〇〇。以上の他「エツシイ」が發行してゐるフランスの觀光地に關するパンフレットは非常に多い。

フランス觀光局 (オント)

(Office National du Tourisme; 101, Champs-Élysées, Paris, 8e)

國立觀光案内所

(Bureau National de Renseignements de Tourisme)

フランス觀光局では専ら實際的の觀光宣傳と案内をなさしめる目的で、パリ他、國內の主要港市には「觀光案内所」を設けてゐるが、これ等の案内所で發行してゐるパンフレットの類は無數にある。殊にパリの案内所はオント内に設けられて居り、パリ市と「エツシイ」の後援の下に、鐵道會社、汽船會社、「エツシイ」等の發行する各種の觀光印刷物を頒布してゐる。

ワゴンリ・クック社

(Wagons-Lits // Cook; 2, Place de la Madeleine, Paris)

「旅行雑誌」(La Revue des Voyages)——パリに在る同社の宣傳部から發行してゐる月刊雑誌で、必ずしもフランス一國の宣傳に限らず、その他の諸國(主として歐洲)の優れたる風光を紹介して旅行の誘發に努めてゐるものである。日本の記事なども稀に出ることがある。毎號約五〇頁で、美麗な寫真が非常に豊富に載せられてゐる。

一一、アルジェリア

アルジェリア觀光經濟局

(Office Algérien d'Action Economique et Touristique;
26, boulevard Carnot, Alger)

「觀光經濟情報」(Bulletins Economique et Touristique)——同局の理事會で發行してゐるが、毎月「觀光情報」と「經濟情報」とに分けて別々に出されてゐる。

一二、イギリス

自動車協會

(The Automobile Association; Fannin House, New Coventry Street, London W.1)

「Road Book of England & Wales」の他、ツーリング・マップ等十四種。また外國の觀光地圖を數多發行してゐるのは會員の海外旅行に便ならしめるためである。

英愛旅行産業宣傳協會

(The Travelling and Industrial Development Association of Great
Britain and Ireland; London: 1. Pall Mall, S.W.1.)

「Industrial Britain」——協會の機關紙で月刊。

「Coming Events」——月刊、協會の旅行業に關する宣傳をなすもの。

一三、カナダ

カナダ自動車協會

(Canadian Automobile Association; Tammsden Building, 6, Adelaide
St. East, Toronto, Ontario)

「Canadian Motorist」——會報、毎月發行

モントリオール・モータリスト聯盟

(Montreal Motorists' League; Windsor Hotel, Montreal)

「Sparks」——旅行及自動車に關する月刊誌

カナダ内務省資源局

(Canadian National Resources Intelligence Service of the
Dept. of the Interior; Ottawa)

自動車旅行、狩獵、魚釣、河川旅行、キャンピング、登山、冬季スポーツ、避暑避寒等に關する各種のパンフレットの他、觀光地圖をも發行してゐる。

一四、インド

西部インド自動車協會

(The Western India Automobile Association : W. I. A. A.;
8, Queen's Road [P. O. Box 211], Bombay)

本協會では數種の詳細な觀光道路圖を發賣してゐるほか、左の如き案内書を取次いで呉れる。

「Bombay Presidency Motor Guide」

「Motor Guide of the United Provinces」

「Motor Guide of the Central Province」

「The A. A. of Bengal Handbook」

一五、蘭領インド

蘭領印度觀光案内所

(Travellers Official Information Bureau; Batavia-Centrum, Java)

「Tourism」——月二回發行。蘭領インドの風光文物を紹介宣傳するを目的とする。毎號菊版二十數頁のものに過ぎないが、珍奇な風俗寫眞を豊富に掲載してゐる。

一六、イラク

イラク自動車協會

(The Iraq Automobile Association; Custom House, New-Street, Baghdad)

毎年一月と七月とに會報を出してゐる。

道路案内書は同國の工部局で呉れる。

一七、ギリシア

ギリシヤ自動車ツーリング・クラブ

(Automobile et Touring Club de Grèce; 11, rue Merlin, Athènes)

本クラブは観光地圖や観光行程案内を發賣してゐる他、各種のパンフレットをも配布してゐる。

ギリシヤ觀光局

(Office Hellenique du Tourisme : O. H. T.; Odos Philelinon 23a, Athènes)

「アテネ案内」(Führer durch Attika)——新らしく出版された獨語案内書で三五ドラクムで賣つてゐる。

一八、ハンガリー

ハンガリー・ツーリング・クラブ

(Magyar Touring Club; Budapest, V. Ferenz Jozsef tér, 5/6 Gresham palota)

「觀光行程案内」他、地圖を發行す

國立自動車クラブ (Royal Automobile Club) の前書記官たるアルダー博士は四年ばかり前にハンガリーの觀

光事業に關する著書を出してゐる。但しこの書はハンガリー語で書かれてゐる。

一九、イタリー

イタリー・ツーリング・クラブ

(Touring Club Italiano; Milan (11—19), Corso Italia, 10)

イタリー・ツーリング・クラブは左の如き月刊雑誌を發行してゐる。

(イ) 「イタリーの旅行」(Le vie d'Italia)——クラブの月報で寫真入二二〇頁ばかりのものである。

(ロ) 「イタリーとラテン・アメリカの旅行」(Le vie d'Italia e dell' America Latina)——寫真入で一三〇頁ばかりのもの。南米に行つてゐるイタリーの移民と本國との提携融和を圖るのが本誌の目的で、他面アメリカ大陸への移殖民やアメリカの地理的情勢に興味を有してゐる者のためには非常に有益なものとされてゐる。

(ハ) 「道路」(Le Strade)——本クラブの道路研究會と道路改修委員會との機關誌で道路の保存、改修、交通等に關する總ての問題を研究してゐる。本誌は道路事業を取扱つてゐる公設機關に對しては無償で頒布される。

(ニ) 「イタリーのホテル」(L'Albergo in Italia)——月刊雑誌であるがエニツトとの共同編輯にかゝり寫真を豊富に挿入して頗る贅澤なものである。本誌の目的とするところはホテルの改善、建築、經營等あらゆる問題に關して研究するに在る。

(ホ) 「高山」(L'Alpe)——イタリーの山林保護に關する雑誌である。

(へ) 「イタリアと世界の旅行」(The vie d'Italia e del mondo)——一九三三年の創刊にかゝる月刊誌で、全誌アト紙を用ひ世界各国の寫眞を頗る豊富に入れ、彼の「The National Geographic Magazine」の様な體裁を具へてゐる。約四〇〇頁のもの。

イタリア・ツーリング・クラブでは數多の年鑑を發行してゐるが、その主なるものは

(イ) 「イタリア・ツーリング・クラブ年鑑」(Annuario Generale del T.C.I.)——毎年出版されるのを例とする。一九三二年版の如きは一、二〇〇頁に上る浩瀚なもので、その中にはイタリアのあらゆる土地に關し旅行上必要な記事を掲載してゐる。

(ロ) 「自動車旅行と自動自轉車旅行の年鑑」(Annuario dell' Automobilismo e del Motoiciclismo)——題名の示す如く自動車と自動自轉車とによつて旅行するツーリストにとつては好箇の伴侶となるもの。但し近年は餘り發行されてゐない。

(ハ) 「航空年鑑、一九三二年版」(Annuaire de l'Aéronautique)——一一一六頁、文字通り航空旅行に關する百科全書である。

以上の他イタリア・ツーリング・クラブは種々な案内記を發行してゐるが、その中で最も重要なのは「イタリアツーリング・クラブのイタリア案内記」(Guida d'Italia del T. C. I.)である。本案内記は全部で十七卷から成り、イタリア本國及びその植民地、領土に亘つて記述され、最も主要な觀光地方についてはその名所、舊蹟等を詳細に説明し、各卷五〇〇乃至六〇〇頁のものである。従つてイタリアの各地を見物する者にとつては非常に好き手引となるであらう。またイタリア・ツーリング・クラブは短期間の遊覽客のために一卷乃至三卷の地方別案内記も出してゐる。

外人遊覽客のための案内記——佛語版はパリのアシェット書店の「旅行案内集」の中に加へられて居り、一般の書店並に主要停車場で發賣してゐる。三卷に分たれ、第一卷は「北部イタリア」、第二卷は「中部イタリア」、第三卷は「ローマ、南部イタリア及び近海諸島」となつてゐる。

また佛語版で全イタリアを一巻に纏めたものもある。これは六五〇頁ばかりのもので価格は六〇フラン。

英語版はロンドンのエルンスト・ベン書店から發賣され、これも一般の書店と主要驛で販賣してゐる。上卷は「北部イタリア」、下卷は「ローマ、南部イタリア及びシシリ島」に分たれてゐる。価格は各卷一五シリングス。獨語版はフランクフルトのラーヴェンスタイン書店で發賣。前二者同様に主要驛と一般の書店で販賣してゐる。「北部イタリア」、「中部イタリア」、「南部イタリア」の三卷に分たれてゐる。

獨語版ではこの他に一冊に纏めたものも發賣されてゐる。約七〇〇頁、価格は一五マーク。

(便覽の部)

「ホテル事業便覽」(Manuale dell' Industria Alberghiera)全一卷で一千頁。價格一五リラ、ホテル業者並にホテル従事員にとつての百科全書である。

「觀光法規一覽」(Il Diritto Turistico)——ポルトロ・ペロツテイ著、價格三リラ。

この他イタリア・ツーリング・クラブで發行してゐる案内記のうちで興味あるものは「古戰場案内記」(Guida dei Campi di Battaglia) である。

本書は全部で五卷に分たれてゐるが、勿論分冊販賣もしてゐる。

「山小屋から山小屋へ」(Da Rifugio a Rifugio)——これは山岳観光案内書である。アルプスを始めその他の山岳について詳細な指示説明を加へてゐるから登山愛好者にとつては絶好の参考書であらう。

エニツト

(Ente Nazionale per le Industrie Turistiche: E.N.I.T.; via Marghera 2, Rome.)

「イタリアの旅行」(Le Vie d'Italia)——これは前述の如くイタリア・ツーリング・クラブの月刊誌であるが、同時にエニツトの機関誌ともなつてゐる。

この機関誌とは別にエニツトは左の様な定期刊行物を出してゐる。

「イタリア議會情報」、「観光統計月報」、「イタリア・ホテル年鑑」、「エニツト・ニュース」(佛、英、獨、伊語各版)

「観光ラヂオ日報」——これはローマ、ナポリ、パレルモ、フロレンス、ジエーナ、チュリン、ミラン、ポローニ

ユ、トリエストの各放送局から放送される観光ニュースを掲載する日刊紙である。

然しエニツトで最も力を入れてゐる刊行物は宣傳印刷物であつて、パンフレット、ポスター、案内記、フォルダ
ー、單行本等その種類は極めて多くその使用語も數ヶ國語に亘つてゐる。これ等の印刷物はすべて無料で配布さ
れる。

「Travel in Italy」——國有鐵道とエニツトとの共同出版にかゝり美麗な寫真入りの英文雑誌。卷末に季節季節の
鐵道運賃の割引等を掲ぐ。一九三三年の創刊。

二二〇、アイルランド自由國

アイルランド観光協會

(Irish Tourist Association; O'Connell Street, Dublin)

「アイルリッシュ・トラヴェル」(Irish Travel)——本協會の機関誌で月刊。

二二一、ルクセンブルグ

ルクセンブルグ・ツーリング・クラブ

(Touring Club Luxembourg; Coin Grand' Rue Porte Neuve,

2, Luxembourg.)

「ルクセンブルグ・ツーリング・クラブ雜誌」(Revue Mensuelle du T. C. L.)——クラブの機関誌で月刊。

「ルクセンブルグ・ホテル案内」、その他小冊子類も發行。

二二二、ノールエー

ノールエー観光局

(Landslaget for Reiselivet i Norge; Nedre Slottsgate, 7, Oslo)

ノールエー自動車聯盟

(Norges Automobil Forbund; Centralbankens garrl, Kirkegaten, 14—16—18, Oslo)

「Motoridende」(自動車旅行者)——月二回発行、聯盟の機關誌となつてゐる。

この他、聯盟では観光地圖を發行す

一二三、オランダ

オランダ・ツーリスト聯盟

(Toeristenbond voor Nederland; 18—20, Parkstraat, la Haye)

「キャンパー」(De Kampioen)——週刊機關誌

「河川キャンパー」(De Waterkampioen)——週刊

「自動車キャンパー」(De Autokampioen)——右と同様

「オランダ観光路案内」——全三卷、約七〇〇の観光路について距離、地形等詳細にわたつて叙述してゐる。

「外國觀光路案内」(Guide routier pour l'étranger)——自動車遊覽客にとつて最良の指針となるもので獨、佛、瑞等

歐洲の主要觀光國の觀光路を紹介してゐる。これは自國ツーリストで外國に遊ぶ者のためを思つて作られたものだらう。その他本クラブでは徒歩旅行者の便を圖つて數多の案内記を發行してゐる。

オランダ外客誘致本部

(Algemene Nederlandsche Vereniging Voor Vreemdelingenverkeer : A.N.V.V.;

La Haye, Lange Voorhout, 102)

「オランダ」(Ons Nederland)——月刊誌

「オランダ年鑑」(Jaarverslag)

佛語版のもの——

「オランダ寫真帖」——一〇、七五フロリン

「オランダ遊覽案内」(Comment visiter la Hollande)——一〇、七五フロリン

「ハーレムと花の園」(Haarlem et les Champs de fleurs)

「世界に於けるオランダ」(La Hollande dans le Monde)——三、〇〇フロリン

「オランダの海岸」(Plages en Hollande)

英語版のもの——

「ハーレムとチューリップ島」(Haarlem and the Bulbfields)

「オランダに於けるヨット」(Yachting in Holland)

「オランダ遊覽案内」(How to See Holland)

- 「オランダの海岸避暑地に来れ」(Visit the seaside resorts in Holland)
 - 「オランダに於けるモータリング」(Motoring in Holland)
 - 「ホテル一覧表」(List of Hotels)
 - 「少額の費用で済むチューリップの國の遊覽」(It costs so little to see so much in Tulipland)
 - 「現代のオランダ」(Modern Holland)
 - 「オランダ寫真帖」
 - 獨語版のもの——
 - 「オランダの温泉地」(Badeorte in Holland)
 - 「オランダ北海沿岸の温泉に来れ」(Besucht die Nordseebäder in Holland)
 - 「ハーレムと花の園」(Haarlem und die Blumenfelder)
 - 「オランダへ來れ」(Auf nach Holland)
 - 「景勝國オランダ」(Holland, ein Land das lohnt)
- この他オランダ語の冊子は勿論、西、葡、丁、伊語等による宣傳冊子も數多ある。

二四、ペルー

ペルー・ツーリング・クラブ

(Touring Club Peruano; Edificio Belén, 202 Plaza San Martín, Lima)

「ペルー・ツーリング・クラブ誌」(Revue du Touring Club du Pérou)——毎月發行され會員には無料で配布されてゐる。ペルーに在る觀光地を紹介し遊覽に關する諸種の記事を掲載して旅行者の便を圖る。

二五、ポーランド

ポーランド・ツーリング・クラブ

(Polski Touring Klub; Varsovie, rue Kredytowa, 5)

本クラブで發行してゐるポーランドに關する觀光圖書には次の如きものがある。
「ポーランド・アルマナック」(L'Almanach polonais)——一九二七年巴里版、八四四頁
「ポーランド案内記」(Le Guide illustré de la Pologne)——一九二七年に工部省から出版されてゐるもので各觀光地に關し寫真入れで詳細な説明が加へられてゐる。

「ポーランドで見物すべきもの」(Ce qu'il faut voir en Pologne)——佛語版 一九二五年發行
「ポーランドと其の名所」(Poland and its curiosities)——英語版 一九二六年發行

最後の二著は外人觀光客の便を考慮して種々の註釋を加へて主要な觀光地を紹介してゐる。

「ポーランドの風景愛護に就いて」(On the protection of nature in Poland)——一九二六年、風景愛護委員會の發行したもの。ポーランド風景を寫真入れで掲げその愛護精神を強調してゐる。

「美術愛好者と旅行者の爲の案内記」(Handbuch für Kunstliebhaber und Reisende)——獨語版
 「ポーランド旅行案内」(Excursions through Poland)——英、佛、獨語で説明してゐる案内記である。名所舊蹟のほかにいろいろな旅程案をも紹介してゐる。その他観光地圖等多數有るが省略。

ポーランド観光局

(Office du Tourisme de Pologne; Referat Turystyki, Ministerstwo
 Robót Publicznych)

「ポーランドと其の名所」(Poland and its curiosities)——オルロウイツチ氏の著に成り一九二五年に發行。
 「ポーランド繪入案内記」(Guide illustré de la Pologne)——本書もオルロウイツチ氏の著で一九二七年にワルソウから發行されてゐる。

以上のほか同國の工部省(この中に観光局が設けられてゐる)では補助金を與へて出版させたものが尠からずあるが、その中若干を挙げると次のやうなものがある。

「ポーランドの山々」(Les Montagnes de la Pologne)——これは寫眞帖であつて一九二五年にポーランド・タトラス連峯協會から發行されてゐる。

「ポーランドで見物すべきもの」(Ce qu'il faut voir en Pologne)——ポーランド文化促進協會の手により一九二五年に發行されたパンフレットである。

「クラコウ案内記」(Guide de Krakow)——ポーランドの観光都市であるクラコウの案内記で外國語で書かれてゐる
 「ポーランドに來れ」(Visita Polando)——エスペラントの案内書で一九二九年にポーランド・エスペランチスト協會で發行。

「ハンガリー語によるポーランド案内記」——一九二九年にポーランド観光協會聯盟によりて發行さる。

「ポーランドのスキー場」(Das Skigelande in Polen)——獨、佛語版兩者とも一九二九年に發行。

「Krakow, Ojcow, Tatry, Pienniny 案内」——ポーランドの主要観光都市に關する案内記で英、佛、獨三ヶ國語で書かれてゐる。

ポーランド観光クラブ

(Polski Klub Turystyczny; Varsovie, Hôtel Polonja)

「ポーランドのツーリスト」(Turysta Polski)——本クラブの機關誌

二六、ポルトガル

ポルトガル観光局

(Office National de Tourisme; Ministère de l'Intérieur, Lisbonne)

ポルトガル旅行協會

(Centro Portuguez de Turismo; 29, Largo do Calhariz, Lisbonne)

ポルトガル宣傳協會

(Sociedade Propaganda de Portugal; 12, Largo do Chiado, Lisbonne)

今日まで発行された宣傳印刷物の大部分は既に品切れとなつたが目下順次に改版再上梓しつゝありといふ。

「ポルトガル」(Portugal)——佛語版と英語版の二種あり、ポルトガルの中で最も興味ある地方や記念物について説明してゐる小案内記である。表紙の繪は同國著名の水彩畫家の手に成つてゐる。

「ポルトガル」(Portugal)——これも佛語版、英語版の二種があり、大體前者と同じやうなものであるが、本案内記には更らにポーランドの氣候風土と鑛泉について述べてゐるのが特長である。

「ポルトガル」(Portugal)——前二者を併せて一本としたやうなもので従つてその説明は可成り詳細になつてゐる。表紙は美麗な水彩畫、英、佛兩版がある。

「コインブラとビュツサーン」(Coimbra e Bussaco)——この地方に關するパンフレット。

またポルト、アルコバサ、バターラ等の觀光地に關しては佛英兩版でパンフレットが発行されて居り、またスペイン語版ではポルトガルの溫泉地について叙述してゐる案内書が出てゐる。

「ポルトガルの溫泉」(Aguas e Termas Portuguezas)——ポルトガル國內に存在する鑛泉地についてその鑛泉の特質や、その他浴泉客にとつて必要な事柄を説明してゐる。

「わがポルトガルの海水浴場」(As Nossas Praias)——ポルトガルの海岸について述べ、主なる海水浴場を紹介してゐる。

「ホテル案内」(Guidos Proprietarios de Hotels)——ホテルの改善について述べ、國內の優秀ホテルについて説明してゐる。

以上のほか觀光地や海水浴場の宣傳パンフレットは數多發行されてゐる。

二七、ルーマニア

ルーマニア自動車クラブ宣傳部

(Oficial de Turismu al Automobil-Club Regal Român;

Bucarest I. Calea Victoriei, 88, Place du Palais Royal)

ルーマニアツーリングクラブ

(Touring-Clubul Românii; Bucarest, 3, 7, Str. General Gh. Manu)

ルーマニア自動車クラブは同國王カロール二世陛下を會長に仰いでゐるものであるが、自動車客のための觀光地圖を發行してゐる他、その他の刊行物は餘り見當らない。

二八、スペイン

スペイン觀光局

(Patronato Nacional del Turismo; Calle de Alcalá, 71, Madrid)

本觀光局の藝術部並に宣傳部より同國の名所舊蹟、藝術、風俗その他に關する一般觀光宣傳の印刷物を出してゐる。

二九、スエーデン

二八

スエーデン・ツーリング・クラブ

(Svenska Turistforeningen; Stureplan, 6, Stockholm 7.)

「クラブ年鑑」(Årskriften)——クラブの会員には無料で頒布してゐるが、会員以外の者には四クロネで賣つてゐる。

「ツーリスト便覧」(Turistkalendern)——年鑑と共に毎年發行されてゐる。本便覧にはスエーデンの観光事業についての大體の組織を述べてゐる傍、観光印刷物を紹介し、山間の風光地點やヒュッテ等を指示しツーリストの爲に便宜を圖つてゐる。

「スエーデン観光雑誌」(Svenskt Turistväsen)——年八回發行。一ケ年三・五〇クロネの豫約で頒布してゐる。

以上のほか、スエーデンの主要都市別による案内記の種類は頗る多く、また廣く観光地方全體に亘つて説明してあるのや、或は「スエーデンの山に咲く花」と云ふ様な特殊なものもある。

これ以外に數種の寫眞帖、ウインター・スポーツに關するもの、自動車旅行に關するもの等多種多様にあるが此處では省略して置く。とも角スエーデンの如き國でかくも多くの宣傳冊子を發行してゐることは注目し價する。

三〇、スイス

スイス・ツーリング・クラブ

(Touring Club Suisse; rue, Pierre Fatio, 9, Genève)

「スイス・ツーリング・クラブ誌」(Revue du Touring Club Suisse)——毎月發行され會員に配布されてゐる。

「クラブ年鑑」(Annuaire)——これも會員には無料で配布されてゐるが、會員以外の者には一フランで賣つてゐる。

「ラ・スイス」(La Suisse)——自動車旅行の案内記で六フランで一般に賣つてゐる。

「ヨーロッパ旅行案内」(Guide Europa Touring)——二フランで賣つてゐる。

スイス観光局

(Office National Suisse du Tourisme; Zurich, Löwenstrasse, 55)

毎月十五、十六の兩日に「定期情報」を發行してゐるが、これは佛、獨、伊、英、蘭の五ヶ國語で書かれてゐる國際的なものである。

「カレンダー」及び「運動と社交の催物一覽表」(La Liste des Manifestations sportives et mondaines)も定期的な性質をもつてゐる。

「ラ・スイス」(La Suisse)——これはスイス全般に關する案内書で佛、英、獨、伊、西、蘭、の六ヶ國語版がある。

このほか種々な外國語で特殊な案内記を發行してゐるが、その若干の例を挙げれば「スイスとその學校」(La Suisse et ses écoles) 「スイスの温泉」(Stations balnéaires suisses) 等があり、夏のスポーツに關するものとして「アルピニズム」、「ゴルフ」、「デニス」、「自轉車旅行」、「徒歩旅行」、「河川旅行」、「空の旅」、などがある。

また「スイスの冬」(L'Hiver en Suisse)は四ヶ國で、「スイスの春」(Le Printemps)及び「スイスの秋」(L'Automne en Suisse)は三ヶ國で發行されてゐる。

三二、チェコスロヴァキア

チェコスロヴァキア・モータリスト聯盟

(Liga Československých Motoristů; rue Lützowova, 4, Prague II)

「チェコスロヴァキアの自動車旅行」(Československý Motorista)——モータリスト聯盟の機關誌で毎月の印刷部數は一萬六千に及んでゐる。

一九三二年には本聯盟の年鑑が始めて發行された。

「チェコスロヴァキア案内」(Guide pour la Tchécoslovaquie)——一九三二年末の發行。チェコ、佛、獨の三ヶ國語で書かれて居り、チェコに遊ぶ外人自動車客の便を圖つて居る。尙この案内書には國內ホテル、自動車修繕工場、ガラージ等を詳細に指示してゐるほか、諸種の道路交通標識や聯盟の地方支部(會員たると否とを問はず旅行者の質問に應ずる)なども掲げモータリストに取つては絶好のガイド・ブックとなつてゐる。

チェコスロヴァキア・ツーリスト・クラブ

(Klub Československých Turistů; KOST; Praha II, Mikulandská, 7)

本クラブの機關誌には次の如きものがある。

「ツーリスト新聞」(Časopis turistů)——月刊、發行部數六萬。

「Letem Světem」——週刊紙、印刷部數二萬。

「スロヴァキアの美景」(Krásy Slovenska)——同國の數多くの景勝地を紹介してゐるもの。

以上のほかに當クラブで發行したパンフレットの類は無數にある。

三三、トルコ

トルコ自動車及旅行クラブ

(Touring et Automobile Club de Turquie;

12-18, Adalet Han, Vayvoda Djadessi, Galata-Istanbul)

當クラブの發行してゐる印刷物中主なるものは次の如くである。

「旅客遊覧案内」(Circulaires Renseignements touristiques)——これは第一卷から第十八卷まであり、佛、獨、英語等で書かれてゐる。

「袖珍アルマナック」(Almanach de poche)——ツーリスト用として作られて居るもので毎年發行される。佛語版およびトルコ版の二種がある。

「諸外國語案内」(Guide Polyglotte)——土、佛、獨、英、伊、西語の簡単な會話をツーリスト用として編輯した

るもの。

「トルコ來遊客の旅券に關する注意書」(Notice relative aux passeports des Voyageurs et des touristes venant en Turquie)——トルコ語のほか、佛、英、獨語で書かれてゐる。

三三、ユーゴースラヴ

ユーゴースラヴ旅行クラブ

(Jugoslovenski Touring Klub; Kralja Milana II, Belgrade)

「ユーゴースラヴのツーリズム」(Jugoslovenski Turizam)——クラブの機關誌で月刊、美麗な寫真入。

「ユーゴースラヴを自動車で」(Im auto durch Jugoslavien)——當クラブで發行してゐる自動車旅行案内書。

三四、ソヴェイエト

インツーリスト

(Intourist; 4, Sverdlov, Square, Moscow, U. S. S. R.)

各種のパンフレットを發行してゐるが、對米宣傳を目的とする英文雜誌「Soviet Travel」は最も注目すべきものであらう。これは月刊で豊富な寫真と共にソヴェイエト各方面の興味有る記事を滿載してゐる。

